

公衆衛生学

VT コース専門科目 1年後期・2年前期 60時間 4単位 講義

講師 藤田圭佑

実務経験のある授業科目	有
実務経験の内容	動物病院における動物看護・受付・診察補助業務
学科・クラス指定等	ベテリナリーテクニシャンコース1年・2年
学習目標	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の疾病予防、衛生管理について学ぶ。
学ひのキーワード	環境衛生、食品衛生、食中毒、疫学、人獣共通感染症、薬剤耐性菌等
準備学習及び復習の内容・履修条件	事前に教科書の該当部分を読んでおくこと。各授業後にはノートの復習をすること。
授業方法	全ての講義はホワイトボードを利用して板書される。必要に応じて資料を配付するが、教科書に基づいて行う。原則として、学期末試験を1回実施して学習深度の向上を図る。必要に応じて、段階的な理解を深めるために中間試験を実施する場合もある。
成績評価基準	試験において、学びのキーワードを理解していること。講義への出席30%、期末試験70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。
備考	動物看護の教科書3巻（緑書房）
授業回数	
1回	公衆衛生の定義、目的、対象領域
2回	人獣共通感染症（定義・現状・新興、再興感染症）
3回	人獣共通感染症（伝播様式・予防対策）
4回	人獣共通感染症（ウイルスによるもの）
5回	人獣共通感染症（狂犬病・高病原性鳥インフルエンザ）
6回	人獣共通感染症（エボラ出血熱・ニパウイルス感染症）
7回	人獣共通感染症（Bウイルス病・ウエストナイル熱）
8回	人獣共通感染症（細菌によるもの）
9回	人獣共通感染症（レプトスピラ症・パスツレラ症）
10回	人獣共通感染症（カンピロバクター・ブルセラ症）
11回	人獣共通感染症（サルモネラ症・腸管出血性大腸菌感染症）
12回	人獣共通感染症（破傷風・細菌性赤痢・ペスト）
13回	人獣共通感染症（真菌によるもの）
14回	人獣共通感染症（皮膚糸状菌症・クリプトコッカス症）
15回	人獣共通感染症（原虫によるもの）
16回	人獣共通感染症（トキソプラズマ症・ジアルジア症）
17回	人獣共通感染症（寄生虫によるもの）
18回	人獣共通感染症（線虫・条虫・節足動物からくるもの）

19回	消毒について（消毒薬・消毒法）
20回	滅菌について（滅菌法） 評価試験